



ニュースリリース

平成20年3月1日

ジェノス・ワイン・マーチャントの 独占輸入販売ワインが全日本空輸(ANA)国際線 ファーストクラスのワインに選定されました

【要 旨】

ジェノス・ワイン・マーチャント株式会社（本社：目黒区中目黒1-9-3、社長：新岡將光、<http://genos.co.jp/>）が日本での独占輸入・販売権を保有する、レ・ドモワゼル・ド・ラリヴェ・オー・ブリオンの白ワイン（2004年ヴィンテージ）が厳正なブラインドテースティングの結果、その優れたコストパフォーマンスを評価され、'08年3月から'09年2月まで全日空の国際線ファーストクラスの欧州ルートで供されるワインに選定されました（http://www.ana.co.jp/int/service/0803/wine/f/NRT_CDG/index_j.html）。

シャトー・ラリヴェ・オー・ブリオン（Chateau Larrivet-Haut-Brion）は、ボルドー市の東南約15km、ペサック・レオニャン地区の中心部にあります。シャトーの歴史は14世紀まで遡ることができる伝統あるシャトーですが、1970年代、80年代は当時の所有者が十分な手入れ行わず低迷していました。1987年にフィリップ・ジェルヴォゾン氏が所有者となってから、品質の向上の為に積極的な投資を行いました。また、1996年からは著名な醸造家ミッシェル・ロランをコンサルタントとして招き、完熟した葡萄のみを手摘みで収穫し厳しく選果する手法を導入する等の様々な改革を行いました。優れたテロワールにも恵まれていたこともあり、近年飛躍的に品質が向上しています。

このワインはセカンドワインですが、シャトーではファーストワインとセカンドワインは畑や樹齢によって峻別されておらず、全く同じ様に育てた葡萄を発酵・熟成させ、ワインとして瓶詰めする際に、ファーストワインとセカンドワインに分けております。従って、他のシャトーのセカンドワインと比べて、ファーストワインとの差異は少なく、セカンドワインとして高品質なものに仕上がっています。

【ジェノス・ワイン・マーチャントの概要】

ジェノス・ワイン・マーチャントは日本ジェノス(株)の100%子会社として2006年10月に設立されました。生産者の顔が見えるワインを取り扱うことを重視し、フランス、米国等から直輸入を行っております。

【ご購入方法】

ご購入される場合は、グループ企業のジェノスグループ(株)が運営するWeb販売サイト「ワインダール」での購入が便利です（<http://item.rakuten.co.jp/winedar/33101062/>）。

【お問い合わせ先】

東京都目黒区中目黒1-9-3
ジェノス・ワイン・マーチャント
担当： 二木／笹原
電話： 03-3716-1794
e-mail: info-gwm@genos.co.jp

以上